

高山西ロータリークラブ

創立1966年1月15日

例会報告 Rotary



ロータリーは世界の扉を開く

第2621回例会 令和2年8月28日
AG訪問、会員増強委員会

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 塚 和信
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 下屋 勝比古
- 会場 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会報委員長 榎坂 純一

＜会長の時間＞

7月の豪雨により崩落した国道41号線が、24時間の突貫工事により片側通行ですが、8月17日に開通しました。工事関係者のご努力に、感謝を申し上げたいと思います。8月に入ると全国的に35℃を超える猛暑が続き、高山でもこれまでに熱中症による救急搬送が、17人に上ったそうです。確実に、地球温暖化による異常気象が年々進んでいるような気がします。



そんな猛暑の中、8月9日、第74回高山西ロータリークラブ杯争奪高山市ソフトミニバレーボール選手権大会へ行ってきました。コロナ渦の中、思うように練習が出来ないとか感染予防のためか、参加チームが例年の半数以下の20チームしかなく、少し寂しい大会でした。しかし、感染予防のためには密にならなくてよかったのかもしれない。当クラブからは、下屋幹事と元会員中林さんが山王フラワーズのメンバーとして参加されました。そして、新井社会奉仕委員長、狭土さん、田中武さんが、早朝より応援に来ていただきました。

皆さん御存じかと思いますが、参加者全員に配られる大会プログラムには、毎回高山西ロータリークラブの会員名簿と、ロータリークラブの定義や奉仕活動内容、例会でどんなことをしているのかまで掲載されています。この大会は34年前の昭和61年、第22代山本善一郎会長の時に高山が発祥であるこのソフトミニバレーボールの普及・発展のために、高山市体育指導委員会の依頼を受け第7回大会より後援を続けています。

今年1月、遠藤会長のもとCLP例会が行われ「ソフトミニバレー大会の後援事業」について、皆様方から様々なご意見を頂きました。私自身、30年以上後援を続け目的も達成しているのだから、選手会へ移管するべきではないかと思っていましたが「高山西ロータリークラブの伝統である、継続することに意義がある、宣伝効果（費用対効果）が大きい」との意見もあり、私の判断により、本年度は「年1回の縮小による継続」という形をとらせていただきました。また、クラブとしてチームを出すことは日頃の運動不足や練習不足などで人が多いため、出さないこととしました。私も10年くらい前に選手として3年間くらい出ましたが、付け焼刃の練習ではなかなか1勝はできませんでした。当時、メンバーだけで練習をしようということで、西小学校の体育館を借りたこともありましたが、結局人数が集まらず門前さんと2人で練習をしたこともありましたが、鴻野年度は、また検討していただければと思います。

これは余談ですが、後援料は優勝チームへの賞品や参加賞に充てられますが、参加チームが少なかったせいで、全員に参加賞がもらえたようで、私どもの会社からも二人参加してまして、ちょうど欲しかったシューズケースを貰えたと喜んでいました。このような姿を見ると、後援してよかったなと思いました。

＜幹事報告＞

◎ガバナーより

- ・熊本豪雨災害義援金ご協力の御礼とご報告
第2720地区ガバナーへ8/26付にて送金 2,522,988円

◎ガバナー、地区会員増強委員長より

- ・会員増強月間研修ビデオ配布の件

◎高山ライオンズクラブより

- ・高山5クラブ&国際ソロプチミスト高山親善ゴルフコンペのご案内
日時・会場 10月25日(日) 午前10時02分スタート
飛騨高山カントリークラブ
表彰式 ひだホテルプラザ 午後6時より
会費 8,000円(プレー料別) 申込締切 9/10

◎はぐるま会会長より

- ・はぐるま会入会のお願い ならびに 開催予定のご案内
11月8日(日)、3月28日(日)、6月13日(日)

◎高山市ソフトミニバレーボール選手会、高山市体育指導委員会より

- ・第74回高山西RC杯争奪高山市ソフトミニバレーボール大会結果報告

◎高山市社会福祉協議会より

- ・第37回高山市社会福祉フェスティバル中止について

◎ロータリー文庫運営委員会委員長より

- ・ロータリー文庫の電子図書館化と文献閲覧に関するご案内

＜例会変更＞

- 美濃加茂 … 8月21日(金)、28日(金)は、
新型コロナウイルス感染予防のため、取りやめ
- 可児 … 8月27日(木)は、
新型コロナウイルス感染拡大のため、取りやめ
- 9月24日(木)は、クラブ細則により、休会

＜受贈誌＞

- 高山RC(会報)、高山中央RC(会報)、下呂RC(会報)、米山記念奨学会(ハイライトよねやま245)、台北市松年福祉会(玉蘭荘だより)、(財)比国育英会バギオ基金(バギオだより Vol.80)、岐阜県環境生活部人権施策推進課長(人権だよりNo82)

＜出席報告＞

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
28名	-	28名	36名	77.78%

＜本日のプログラム＞



AG訪問

濃飛グループガバナー補佐
大森 清雄 様

まずは皆様にお願ひがあります。私、本日バッチ等沢山つけて参りましたが、これは劔田ガバナーに戴いたものとして、お会いになる機会があるようでしたら、AGちゃんをつけていたよ、とガバナーにお伝えいただければと思います。

例会報告

先程会長の時間で 41 号線の災害復旧に触れて頂きましたが、私建設業として、下呂川の復旧に関わらせて頂きました。過酷な仕事で日程も詰まっていた休みもなくやりましたが、この仕事皆さんのためになる、というロータリーの理念が頭にありましたので、社員共々頑張って道路復旧に向けて全力投球できた、と思っています。働く意味が分かっていたからこそ出来た、改めてロータリアンで良かったな、と感ずることが出来ました。

改めて今年度の濃飛グループの予定をお話しさせていただきます。4回のAG訪問ですが1回目と、ガバナー公式訪問となっております。3回目はコロナのためキャンセルといたしました。公式訪問は、高山地区では各クラブにおけるガバナー卓話例会に切り替わっています。4回目の訪問は年度末のご挨拶かたがた参りますし、本日は通常であれば2回目の訪問ですが、クラブの方針をお伺いする、という事で訪問させていただいています。

今年はIMをGTMと名前を変え予定しておりましたが、こちらもコロナ禍でキャンセルとしました。内容は、各クラブにて研修リーダーを決めて頂き、クラブにおいて研修リーダーの指導で会員のスキル向上に役立つ研修を実施いただき、その成果を発表いただく、と予定しておりました。皆さんとお酒を飲み交わす場がなくなって残念ではございますが、研修自体は各クラブにて当初予定通り行って頂き、その成果について内容を文書で提出いただき、それをまとめたものを各クラブに配布させて頂きGTMの代わりとさせていただきます。

本日例会後にクラブの方向性を伺わせて頂きます。私も勉強させて頂くつもりで参りましたのでよろしくお願い致します。

会員増強委員会

委員長 田邊 淳

本日の会員増強委員会担当例会は、地区増強委員の亀山様をお招きして卓話をいただきます。早速亀山様の略歴を披露します。

株式会社御嵩建築 代表取締役社長の亀山 和彦様は、2010年7月、可児ロータリークラブに入会され、2019-2020年度にはクラブ幹事を務めていらっしゃいます。またボール・ハリス・フェローでもあり、2017年から地区の会員増強委員会委員としてご活躍されています。それではよろしくお願致します。

国際ロータリー第2630地区 会員増強委員会 委員

亀山 和彦 様

『そもそもなぜ、会員増強が必要なのか?』

組織は変化しないと活性化しない。

<クラブ奉仕>

例会の参加者が少なくなる。

<クラブ奉仕>

情報が偏る、少ない。< 職業奉仕 >

斬新なアイデアが生まれにくくなる。

地域への影響力が少なくなる。

事業費、寄付金が少なくなる。

若い会員がいないと交換留学などができない。< 青少年奉仕 >

つまり会員増強していかないと、ロータリーの根幹である五大奉仕ができなくなる...もしくは、奉仕の度合いが少なくなる...と云うことです。

『ロータリーの五大奉仕とは?』

「クラブ奉仕」・「職業奉仕」・「社会奉仕」・「国際奉仕」・「青少年奉仕」があります。

1927年 オステンド大会 「クラブ・職業・社会」の三大奉仕でした。1928年ミネアポリス国際大会「国際」が加わり、四大奉仕となった。2010年 規定審議会で「青少年奉仕」加わり、四大奉仕から五大奉仕になりました。(「青少年奉仕」の名称が「新世代」に変わり、2013年にまた「青少年奉仕」に戻りました。)

この五大奉仕が各部門分けされ、各クラブの委員会編成の基本的枠組みとなっています。

『会員増強の「増」と「強」』

「増」は、会員を増やすこと。「強」は、将来的にクラブを担う会員を育てる。会員を退会させないこと。

組織を活性化するには、「増」と「強」のバランスが不可欠。

『ロータリーの現状』

①世界の現状 (2020年6月30日) 世界の会員数 1,180,681人
男性 900,489人 (76.27%) / 女性 278,537人 (23.59%)
世界200以上の国と地域に34ゾーン、529地区、36,173クラブ

②日本の現状 (2020年6月30日) 会員数 85,487人 (世界の7.24%) 男性 79,503人 (93%) 女性 5,984人 (7%)
日本の地区数は34地区、2,238クラブ (6.24%)

③第2630地区の現状 (2020年6月30日)
地区には12グループ75クラブ (岐阜42クラブ/三重33クラブ)
※2020年7月1日から74クラブ (各務原中央が解散)
地区会員数 3,100人 (日本の3.62%)
男性 2,929人 (94.48%) / 女性 171人 (5.52%)

※ロータリー章典によると地区の規模は75クラブ、2700人以上と推奨している。

④過去、最も退会者が多かった年

1996年 世界 約120万人 / 日本 約13万人 ※過去最高
2020年 世界 約120万人 / 日本 約9万人

⑤どう、退会を減らすのか?

・クラブに不足しているものを突き止める

・若い会員は「奉仕」満足しているのか?

・クラブ内での研修や教育の場を増やす

・クラブの親睦を増やす

・充実した例会に心がける

⑥高山西RCの現状 (2020年6月30日)

会員数 36人 男性 34人 (94.44%) / 女性 2人 (5.56%)

平均年齢 61.2歳 (61.4歳)

30代1名 (2.8%) 40代8名 (22.2%) 50代9名 (25%)

地区 (2.0%) (16.7%) (25.9%)

60代6名 (16.6%) 70代10名 (27.8%) 80以上2名 (5.6%)

地区 (26.4%) (22.0%) (6.9%)

『他クラブの会員増強の手法』

<増方法 (拡大) の例>

・職業分類の未開拓業種をターゲットとし、リストアップする。

・数人のチームで入会見込み者を探し、訪問する。(競争するのも良い。)

・例会ゲストに招いたり、公開例会を増やし、気軽に入会見込み者に参加していただく。

・例会や行事の中で会長・幹事が常に会員増強を言葉にして会員の意識を高める。

・女性会員を増やして、明るい雰囲気を作る。

・拡大のために、会費負担のハードルを下げることも前向きに検討してみる。

・入会することの具体的メリットを提案する。

<強方法 (退会防止) の例>

・新会員への情報提供や教育を会長経験者や在籍年数の長い会員が定期的にする。

・新入会員は親睦や会報委員会などに所属する。(クラブの全体を見えるようにする。)

・新入会員席は推薦者や同年代の隣席に設ける。

・早い機会に卓話をして、ロータリアンとしての自覚に目覚めさせる。

・やむなく退会されても、再入会を前提とした前向きな退会として復帰しやすくする。

・入会時に入会宣誓をすることでロータリアンとしての誇りを感じさせ、退会を安易に考えないようにする。

・趣味の活動や同好会などの幹事や代表職を担わせる。

・家族例会や家族参加型イベントを増やし、家族同士での交流を深める。

・メディアアップを図り、ロータリーステータスを高めて、「入りたい」「辞めたくない」クラブにする。



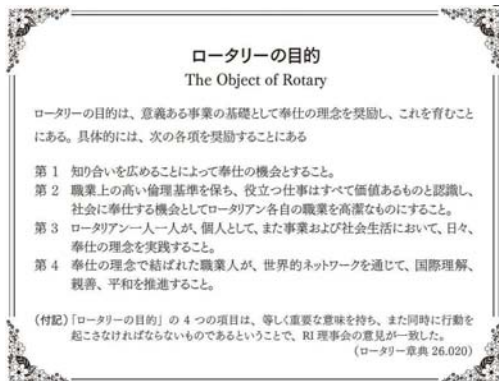
例会報告

『とにかく、一人がひとりを入れること！』

- ・ロータリアンは地域経済を支える担い手であり、世界中に奉仕する選ばれた人物です。
- ・あなたの周りにはあなたを尊敬し、あなたのようにになりたいと思うひとが必ずいます。その方に焦点を当てて、ロータリーに誘っててください。
- ・そして、共にロータリアンとしての誇りと絆を育てていって下さい。
- ・「生涯ロータリアン魂」をクラブに根付かせて下さい。

『コロナ禍におけるロータリー活動』

- ① コロナ対策を万全にして、経済活動を活性化させる。各自の職業奉仕を安定させる。
 - ② コロナ感染拡大予防のために開催できなかった例会費や消化できなかった事業費を地域のために使う。
 - ③ ロータリアンの絆を更に深める。ロータリーには「はい！」か、「YES！」しかない。と云った人間関係。
 - ④ 正しい情報を掴み、正しい行動をする。マスメディアの情報に惑わされない。
 - ⑤ 日本の将来を担う若者を育む。
 - ・現在、定職に就かないニートと呼ばれる若者が70万人。不登校の子も達19万人、外国人の子も入れると45万人。
→生活保護受給者になりかねない。(214万人)
 - ※コロナ禍で更に増加傾向。
- 現在の若者に足りないもの
- ・コミュニケーション能力 (SNSの普及による)
 - ・失敗体験 (挫折) ⇒壁を乗り越える力
 - ・大人との対話
 - ・前に踏み出す力
 - ・想像力 (SNSへの投稿など)
 - ・協調性 (互いに助け合い、同じ目標にうこと)
- ⑥ 「ロータリーの目的」と「四つのテスト」を再認識する。
 - ・迷ったときは、常に「ロータリーの目的」を振り返る。(原点に戻る)
 - ・自分の行動を「四つのテスト」に照らし合わせる。自分の行動は正しいのか？何をすべきか？(見つめなおす)



『四つのテストはどうやってできた？』

シカゴクラブのハーバート・テラーが経営不振に陥る企業の再建を担い、社員が正しい考え方を持つことが会社全体の信用に繋がり、再建への最も近道だと考え、(社員の行動指針として)作られました。

そもそも、四つのテストとは？

「事業を繁栄に導くための四通りの基準」です。一つ一つやるのではなく、四つすべてが出来ているか、どうかを判断するものです。『真実かどうか？』

商取引に於いて、品質・納期・契約条件に偽りがいいか？

『みんなに公平か？』

すべての取引に対して、公平か？

『好意と友情を深めるか？』

信用を高め、取引先を増やすか？

『みんなのためになるかどうか？』

すべての取引先に利益をもたらすか？

こんな時期だからこそ「ロータリーの目的」である、共に奉仕する同志を増やし、奉仕の理念で結びましょう。

日々の言行を「四つのテスト」に照らしあわせて、徳を積みましょう。

そうすることで、仲間が増え、クラブが活性化して行くはずですよ。ご清聴ありがとうございました。

<ニコニコボックス>

●濃飛グループガバナー補佐 大森 清雄 様

本日は宜しくお祈りします。

●地区会員増強委員 亀井 和彦 様

本日卓話に伺いました。宜しくお祈りします。

●高山中央RC 仲谷 政美 様

久しぶりのメイクアップ、よろしくお祈りします。

●堺 和信さん、下屋 勝比古さん

濃飛グループガバナー補佐 大森 清雄 様、地区会員増強委員 亀井 和彦 様のご来訪を歓迎いたします。猛暑の中ありがとうございます。今日は当クラブでも問題になっています会員増強について助言頂けます事を期待しています。よろしくお祈り致します。併せて中央RC 仲谷様、ようこそお越し下さいました。高山でも猛暑が続いています。2週お休みでしたが体調管理は大丈夫でしたか？残り少ない夏を楽しみましょう。

●内田 幸洋さん、

大森AGご来訪ありがとうございます。また大変な時期ですがお疲れ様です。一昨年度AGの内田です。当時はとてもお世話になりました。

●古橋 直彦さん

大森ガバナー補佐のご来訪を歓迎いたします。2012年に上野田さんがAGの時、開催された水明館でのIM、印象に残っています。今回も楽しみにしていましたが残念です。

●米澤 久二さん

濃飛グループ大森アシスタントガバナー、地区会員増強委員 亀井様のご来訪を歓迎いたします。先日の55周年準備委員会に参加された委員の皆様、非常に活発なご意見有難うございました。皆様、11月21日は55周年記念例会です。よろしくお祈りします。

●田近 毅さん、斎藤 章さん、遠藤 隆浩さん、鴻野 幸泰さん、

垣内 秀文さん、塚本 直人さん、新井 典仁さん、田邊 淳さん、

黒木 正人さん、杉山 和宏さん

濃飛グループガバナー補佐 大森 清雄 様、地区会員増強委員 亀井 和彦 様のご来訪を歓迎いたします。ご助言、卓話を楽しみにしています。

●門前 庄次郎さん

前回のSAA担当例会、ドタキャンして申し訳ありませんでした。黒木さん代理ありがとうございました。内田さん菅垣さんスピーチご苦労様でした。

●下屋 勝比古さん

ハンドボール日本リーグが、明日開幕します。今回は無観客試合となりますので、迫力あるプレーを生で見頂けません。ネット配信しますのでJHLホームページより応援して下さい。開幕に先立ちPCR検査を受け、選手役員全員の「陰性」が確認出来ました。引き続き感染拡大防止にはしっかり取り組みます。

●井上 正さん

会員の皆様 突然の退会表明となりました事どうかお許し下さいましたらと存じます。かねてより社業や大学設立に集中したいと考えておりましたが、私なりの区切りとしてけじめをつけるタイミングに至りこの度、高山西ロータリークラブを退会させて戴く決断をいたしました。入会依頼皆様より戴きましたご厚情にただただ厚く御礼申し上げます。今後はさらに社業発展に、念願の大学設立に心血を注ぐ所存でございます。末筆になりましたが、皆様方のご健勝と高山西ロータリークラブの御発展を心より祈念申し上げます。